

## はじめに…。

平成23（2011）年3月11日に起きた東日本大震災と福島第一原発の過酷事故から、先月の3月で7年間の歳月が経ちました。

私は、3学期の離任式・終業式の翌日から2泊3日の日程で、福島県と宮城県の震災遺構や、いまだに「帰還困難区域」に指定されている福島第1原子力発電所近くの国道6号線沿いの町を、自家用車で訪ねてきました（初日は移動のみ）。

そこで感じた気持ちや考えたことなどを、撮影した画像と一緒に紹介します。

# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 塩屋崎（しおやさき）灯台（福島県いわき市）

①



②

この後、ここに行きました



# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 豊間（とよま）中学校跡（福島県いわき市）

①



②

塩屋崎灯台が見える



2日目（平成30年 3月25日 日曜日）：  
国道沿いに集められたお地蔵さん達（福島県いわき市）

①



②

塩屋崎灯台が見える



# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 国道6号線沿いの墓場（福島県双葉郡広野町）

①



ここから、宿泊先の宮城県石巻市まで、国道6号線を海沿いに北上しました。  
右の写真のお墓は、7年前のものが多いのでしょうか。新しいお墓ばかりでした。

②



# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 国道6号線沿いのコンビニにて（福島県双葉郡広野町）

① 5年前に開校された高校（バドミントン全国制覇）



② ここに注目



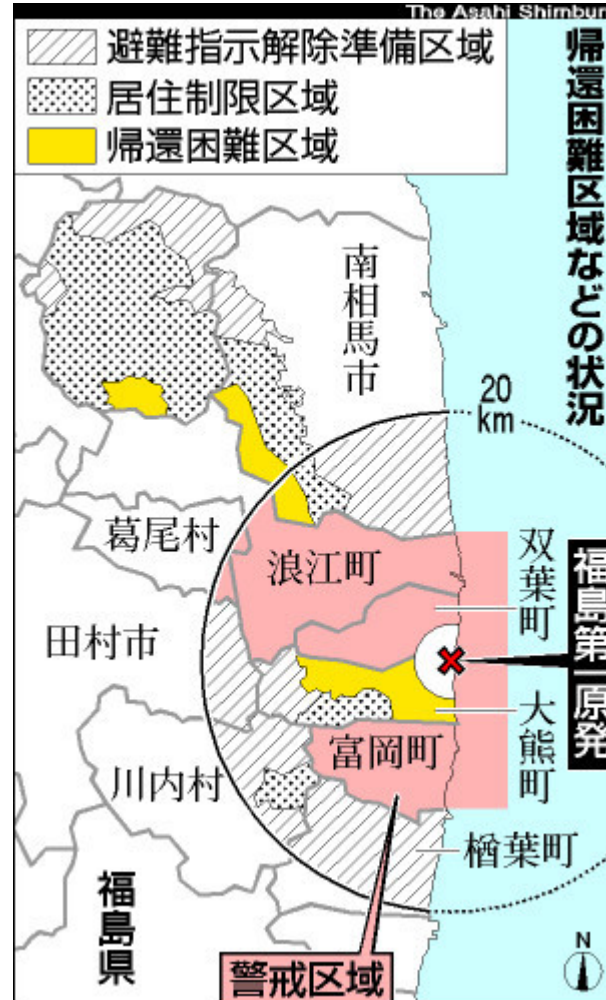
# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 「帰還困難区域」に入る所（福島県双葉郡富岡町）

①



2012年11月30日付  
朝日新聞デジタルより

②



「高線量区間」  
なので防護服



この写真は以下の通り。  
撮影者：高山琢馬  
撮影日：2015年4月26日  
撮影場所：福島県浪江町

# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： ブログ<http://yuchrszk.blogspot.jp/>から掲載

①



③



②



④





# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 相馬（そうま）市伝承鎮魂祈念館（福島県相馬市）

①



②



松川浦に押し寄せた大津波による被害を中心に  
相馬市では、458人の方々が亡くなりました。

「津波の動画は…見ることはできません」（若い女性ガイドさんの言葉）。

# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 仙台市立荒浜小学校（宮城県仙台市若林区）

①

児童や教職員、住民ら320名が避難し、屋上からヘリコプターで救助されました。

②



# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 荒浜の慰霊碑近く（宮城県仙台市若林区）

荒浜地区で200人以上、若林区全体で339人の方々が亡くなりました。

①



②



亡くなった人の名前が刻まれた石碑を見つめながら、家族連れのお母さんの方が「ふみちゃん」とつぶやいていました。

# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 荒浜の慰霊碑近く（宮城県仙台市若林区）

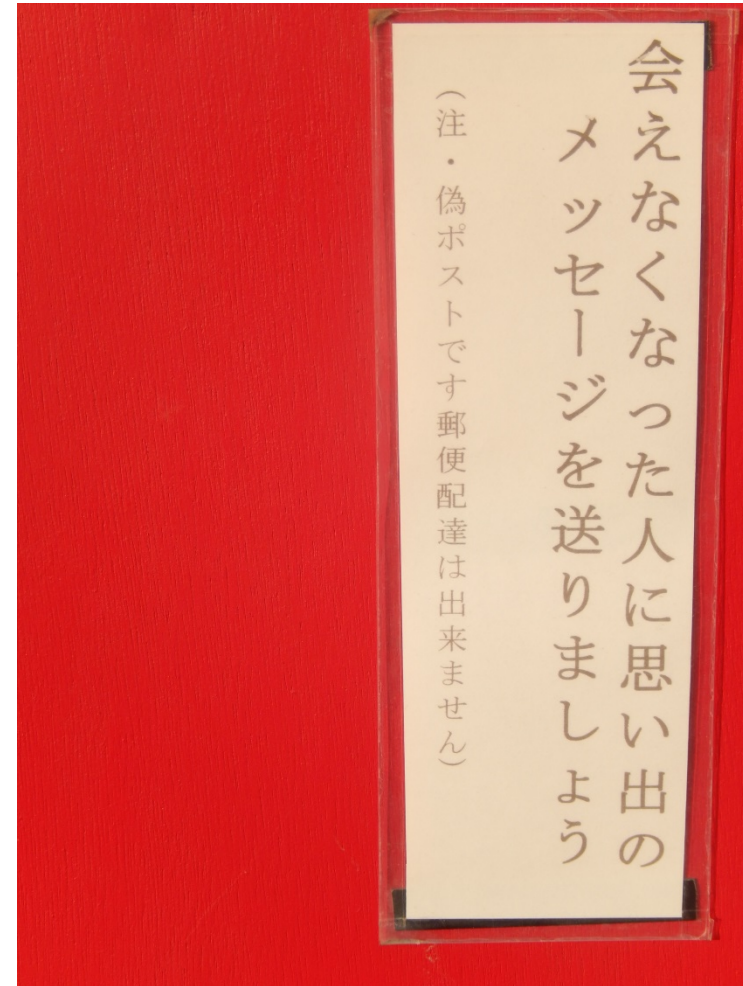


# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 荒浜の慰霊碑近く（宮城県仙台市若林区）

①



②



# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 荒浜の慰霊碑近く（宮城県仙台市若林区）

平成23（2011）年以前のカーナビには、今はもう存在しないコンビニ（セブンイレブン）が表示されていました。

①



②



# 2日目（平成30年 3月25日 日曜日）： 宿泊先のホテルのルームキー（宮城県石巻市）



東日本大震災は、  
西暦2011年  
すなわち  
平成23年の  
**3月11日**に発生しました。

**「3.11」**も  
「フクシマ」も

もはや世界語になっています。

あたかも「ヒロシマ」や  
「ナガサキ」のように…。

# 3日目（平成30年 3月26日 月曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）

①



②



横死とは？

「殺害されたり、  
災禍などのため、  
天寿を全うしないで  
死ぬこと。  
不慮の死。非業の死。」  
(デジタル大辞泉より)

ここでは、児童74人  
教職員10人が亡くなった。



# 3日目（平成30年 3月26日 月曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）

## 仙台地方裁判所判決

2014年3月10日、犠牲となった児童23人の遺族が宮城県と石巻市に対し総額23億円の損害賠償を求める民事訴訟を仙台地方裁判所に起こした。

2016年10月26日、仙台地方裁判所は学校側の過失を認定し23人の遺族に計約14億円の支払いを石巻市と宮城県に命じた。石巻市と宮城県は大川小学校は津波の浸水想定区域に入っておらず津波の際の避難所として指定されていたことなどを理由に津波の襲来を予見できなかったと主張したが、仙台地方裁判所は少なくとも石巻市の広報車が大川小学校付近で津波の接近を告げ高台への避難を呼びかけた時点までに教員らは大規模な津波の襲来を予見できたはずであり、学校の裏山に避難しなかったのは過失だと結論づけた。

# 3日目（平成30年 3月26日 月曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）

①



②

### 大川小学校と「数字」

<b>74名</b> 犠牲になった児童数 (死亡70 行方不明4)	<b>1.1m</b> 大川小の海拔 校門脇にあった碑 海拔1m12とある	<b>108名</b> 当時の全校児童数 (校庭には78名がいたと言われている)
<b>10名</b> 犠牲になった 教職員数 (校庭にいた11人中)		<b>9度</b> 椎茸栽培の体験学習をしていた大川小裏山の傾斜
<b>3.8km</b> 海から大川小までの距離		<b>150m</b> 先頭の児童が 避難開始から 津波に襲われるまでの移動した距離
<b>51分</b> 14:46 <地震発生> ↓ 15:37 <津波到達> 津波で止まった時計 ▶		<b>1分</b> 避難開始は津波襲来の 1分前 …山ではなく川に向かった… (山は選択されなかった)
<b>8.6m</b> 大川小を襲った津波の高さ (海拔9.7m) ◀ 2階教室の天井に 津波の跡がある		

# 3日目（平成30年 3月26日 月曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）

①



②



# 3日目（平成30年 3月26日 月曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）

①



②



茨城県の中学生在が、貸切バスで来ていました。校庭に花を植えるボランティア活動をしていました。

# 3日目（平成30年 3月26日 月曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）

① 津波で破壊された壁絵。宮澤賢治も「東北人」。



②



# 3日目（平成30年 3月26日 月曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）

①



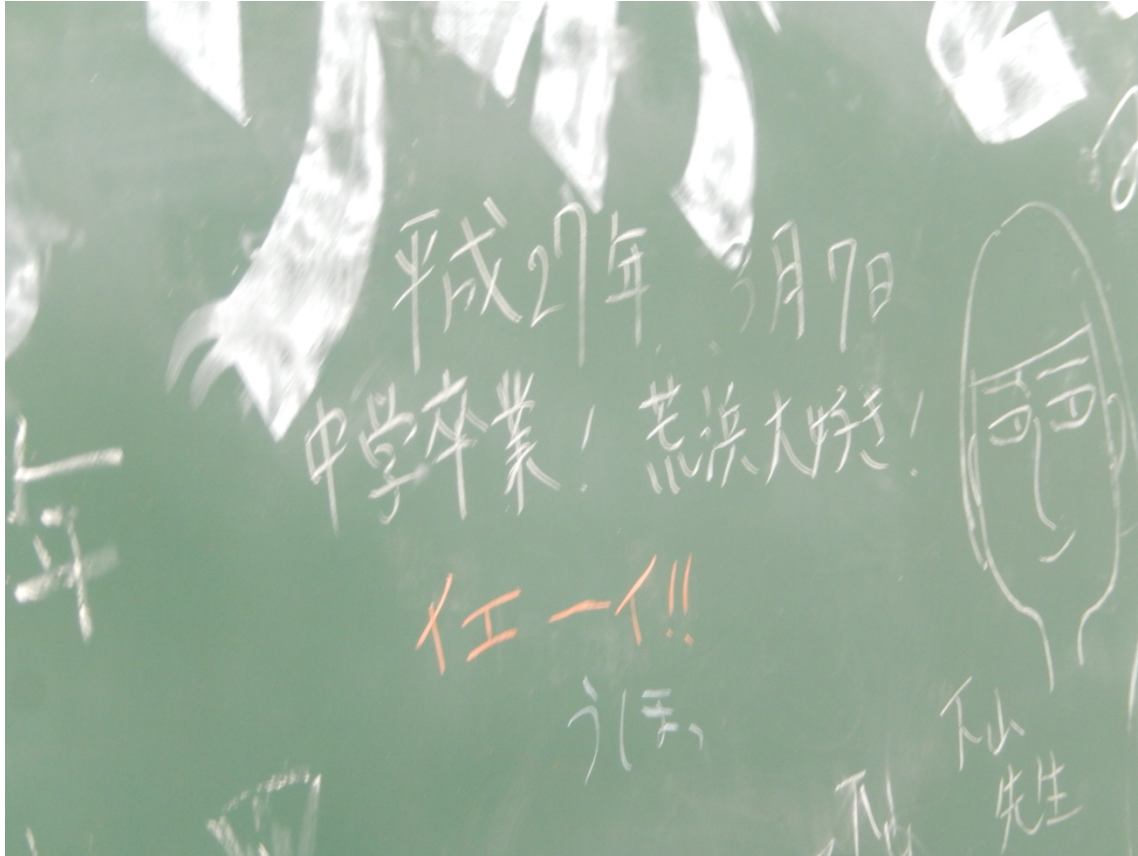
②



「復旧」や「復興」に必要な不可欠な大型トラック。月曜日＝平日なので、ものすごいトラックの数…。

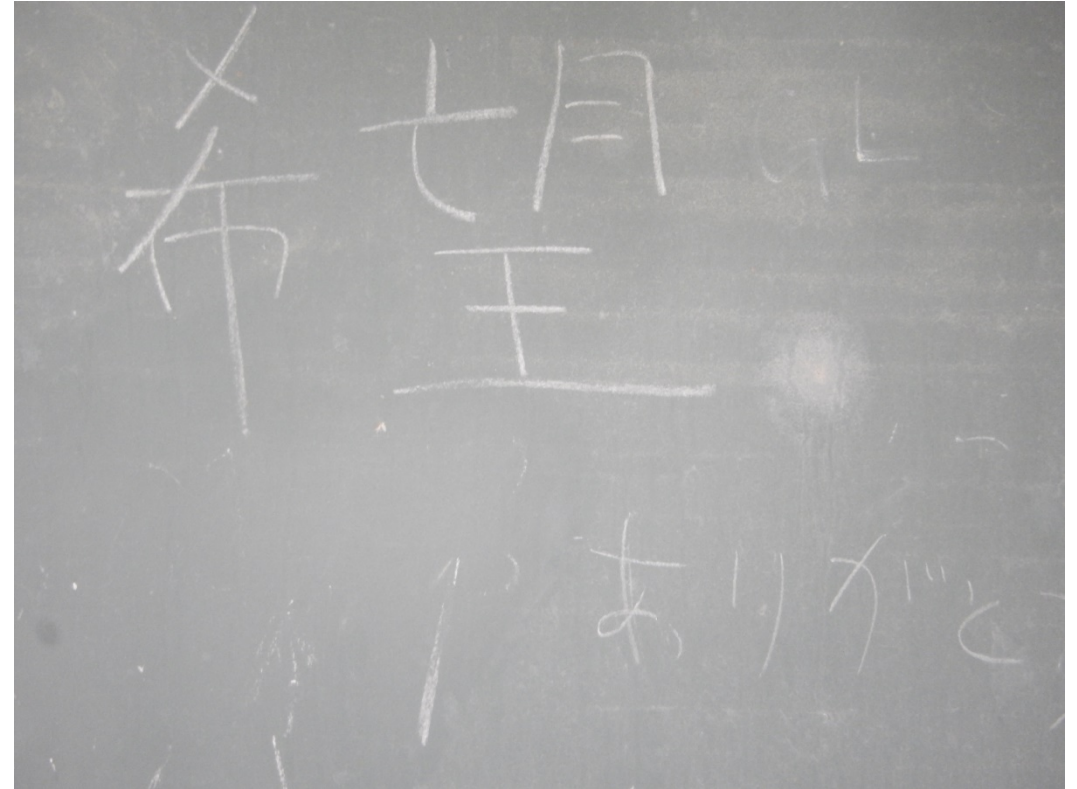
# 最後に…。

①



仙台市立荒浜小学校の教室の黒板に書かれていました。  
震災の4年後に、中学校を卒業したのですね。

②



同じく、教室の黒板に書かれていた  
「希望」と「ありがとう」。